



陽の光をいっぱいあびて、 のびのび元気できらいとかがやく子に

日野町子育て支援室

おひさまひろば だより

【申込み・問合せ】

▶ひのっこ保育所 (電話 72-0238)

▶教育委員会 (電話 72-2107)

子育て真っ最中のお父さんお母さん、ご家族を応援します！

★親子の集いの場です。多くの人と関わり、一緒に遊んだりお話したりして楽しく子育てしましょう。

★安心して子育てができるように子育てに関する情報を提供します。何でも気軽にご相談ください。

《開設日》 毎週水曜日～金曜日 午前9時～午後2時

●午前11時30分には昼食の準備をします。午後参加する人は、お弁当・お茶を準備してください。

●現在、対象者は25人です。保育所に入所していない子どもたちのほか、里帰りの人もどうぞ遊びに来てください。59人の子育て先輩ボランティアのサポートもあります。

5月のテーマ

風を感じて ～外遊びを楽しもう～

さわやかな五月晴れの下、元気いっぱい泳ぐこいのぼりと一緒に、戸外遊びを楽しみたいと思います。小さい友だちが次々とおひさまひろばに参加されるようになりました。さまざまな経験を通して、たくさんの人と出会いかわる中で、人に愛される安心感や心地よさを体中で感じ、優しく、そしてたくましく育ててほしいと願います。

5月の予定

10日(金) ワンポイント食育講座 (11:00～11:30)
長谷川管理栄養士から食の生活習慣について話を聞きます。離乳食や食事について相談できます。

16日(木) おでかけおひさまひろば (町公民館)
お昼は、春キャベツたっぷり入ったポトフを作って食べます。準備の都合上、14日(火)までに申し込んでください。(食材費：親子で300円集金します)
天気が良かったら散歩に出かけます。

22日(水) 図書館からのおはなし会 (10:30～11:00)
春の季節を感じるような内容のおはなしです。

23日(木) 5月生まれの友達の誕生会

24日(金) 保育所の友だちと一緒にダンスをします。

運営調整会議委員を紹介します (五十音順)

- ・緒形崇子さん (おひさまひろば・ひのっこ保育所保護者)
- ・頭本美奈さん (おひさまひろば保護者)
- ・杉原和江さん (近隣有志ボランティア)
- ・田口郁江さん (親子でアートを楽しむ会おひさま代表)
- ・長谷部早百合さん (主任児童委員)
- ・福留千晴さん (ひのっこ保育所保護者)
- ・細田貴子さん (おひさまひろば・ひのっこ保育所保護者)
- ・松本沙代子さん (ひのっこ保育所保護者)
- ・松本智子さん (おひさまひろば・ひのっこ保育所保護者)
- ・森田順子さん (更生保護女性会会長)

『おひさまひろば』を紹介します

ぽかぽかとおひさまのように暖かい部屋です
おもちゃがいっぱい！

お友だちを誘い合ってきてください



子育てを支える
集いの場です

暖かい日差し
が入る部屋

本棚もあるよ
色んな絵本に
出会えます



おもちゃも
たくさんあるよ



教育委員会から学校評価についてお知らせします

平成 19 年 6 月の学校教育法の改正により、「学校評価の実施による学校改善」と「学校の情報の積極的な提供」が義務づけられ、「学校の教育水準の向上」と「地域に開かれた学校づくり」が求められています。

学校評価の実施手法には、『自己評価（教職員）』『学校関係者評価（保護者・地域住民など）』『第三者評価（外部専門家など）』の 3 つがあります。今回は、昨年度に各学校の教職員が行った『学校自己評価』結果について学校別にお知らせします。

- 【評価基準】 A = 達成できた（85 点以上） B = だいたい達成できた（60 ～ 84 点）
 C = 達成状況が不十分（40 ～ 59 点） D = 達成できなかった（39 点以下）

■黒坂小学校

評価項目	具体項目	目標の達成状況	自己評価
学力の向上	言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の問題解決型の基本的指導過程は定着しつつある。 ●補助発問や話形の工夫等により、発言できる児童が増えてきた。 ●算数のノート作りの工夫、算数的言語活動の共通理解と手立ては課題が残る。 	B
	指導と評価の一体化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●評価言を意識した授業づくりへの教師の意欲の高まりが感じられるようになった。 ●教師や友達の意見を真剣に聞こうとする児童が増えた。 ●児童の反応を予想し、それに合うきめ細かな手立てを講じることはまだ十分とは言えない。 ●児童の発言をつなぐ授業づくりにはまだ課題が残る。 	B
豊かな人間性の育成	豊かな体験活動・交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●支援ボランティアの方や日野高校生徒との関わりにより、価値ある体験を仕組むことができた。 ●教師の計画ありきの活動になりやすかった。 ●地域の外へ出て行き、仲間意識を深めるような児童主体の活動には課題がある。 	B
	人権教育・特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●心の教育相談、さまざまなアンケートで児童理解を図り、支援体制を作ってきたことは意義がある。 ●友達のよいところを評価し合う雰囲気はできており、仲間意識も強い。 ●自己中心的、依頼心の強さも目立ち、自分と対峙し、より良くなるようにする気持ちが弱い。 ●個別の支援・指導計画の評価と見直しが必要である。 	B
家庭・地域との連携	基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ●70 点弱の児童は学校でのきまりが守れていると自己評価している。 ●「凡事徹底」に努めたが、睡眠時間の遅い児童が高学年になるほど増える傾向がある。 ●本校の目玉でもあるアットホームデーファミリー週間への取り組みは 60 点以上はできているが、まだまだメディアとの付き合い方には課題がある家庭もある。 	B
	地域との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●依頼された行事への参加、地域行事への参加、公民館との関わり等、地域に目の向く場も多く、地域の一員であることの自覚へとつながった。 ●地域での挨拶や返事ができない児童もいる。 ●地域ボランティアの計画的な活用が課題である。 	B
	家庭学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●宿題はたいていの児童がしている。 ●宿題が終わればそれによしという児童が多く、自主的に家庭学習を進められる児童は少ない。（基本的な生活習慣の定着との関連が強い） 	B